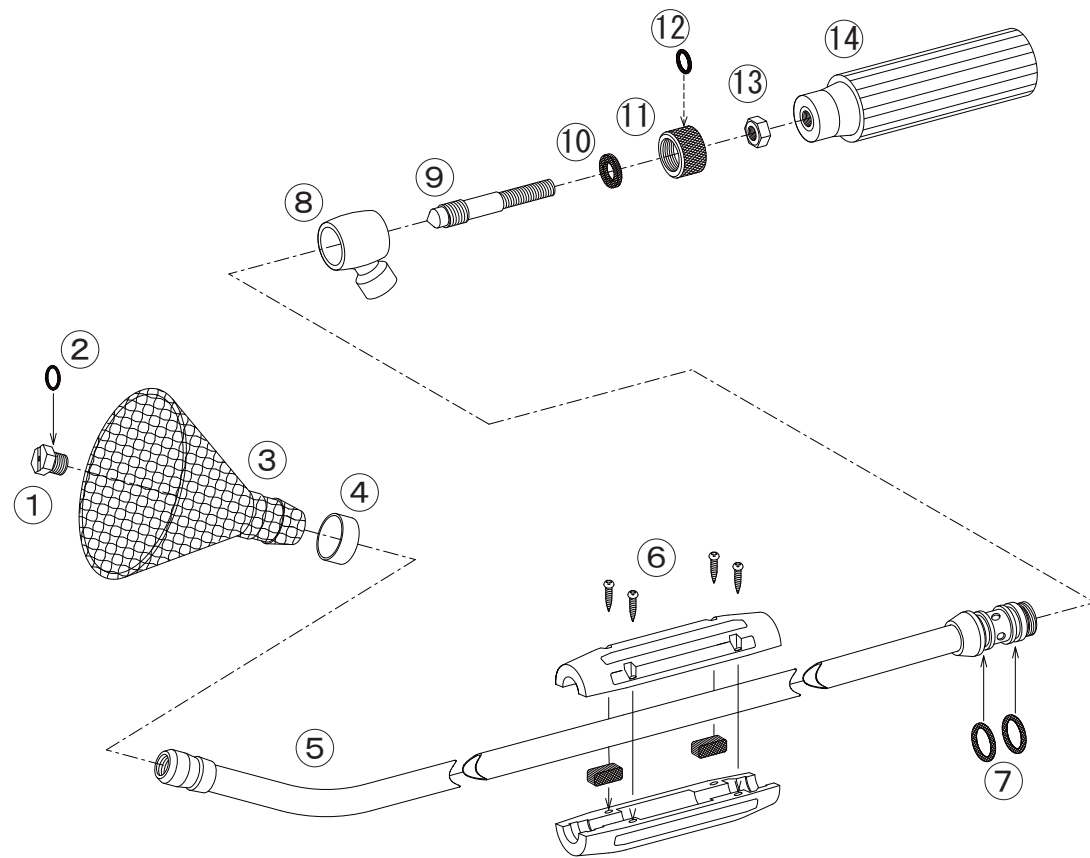


洗浄ノズルFR-10

パーツリスト



No.	コード番号	部品名称	個数	備考	No.	コード番号	部品名称	個数	備考
1・2	1102701	噴口	1	Oリング付	9	1102709	ニードル軸	1	
2	3100300	Oリング	1	P-7	9~14	1129401	ニードルー式	1	グランド、握り付
3	1102703	ゴムフード	1		10	1102710	グランド用パッキン	1	16x9x2
4	1102704	フード止めリング	1		10~12	1102711	グランド(完)	1	Oリング、パッキン付
5~7	1102705	本体バイブー式	1	握り、Oリング付	12	3100500	Oリング	1	P-9
6	1103415	中間握り	1	(1/2 赤) ゴム板、ビス付	13	1102820	M8ナット	1	
7	3101000	Oリング	2	P-14	14	1129403	手元握り	1	(M8 赤)
8	1102708	水入口雌金具	1		5・7	1129404	本体パイプ	1	Oリング付

弊社ホームページでも検索できます。

スプレーノズルのパイオニア永田製作所 で検索し **パーツリスト** をご覧ください。

1129400-001



⚠ ご使用前に必ずお読みください

取扱説明書

洗浄ノズルFR-10

最高使用圧力 3.5 MPa

⚠ 安全に防除作業をしていただくために

この度は洗浄ノズルFR-10をお買い上げいただきありがとうございます。
安全で快適な防除作業を行っていただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。この取扱説明書では安全な作業をするため、守っていただきたいポイントに⚠のマークを表示し説明しておりますのでよくご理解いただき、事故のない安全な防除作業をしてください。なお、本書はいつでも内容が確認できるように大切に保管してください。

機能操作の説明

- (1) 洗浄ノズルをホースに取り付ける際は、シールテープ、ねじシール剤またはパッキングで漏水のないようしっかり工具で締め付けてください。
- (2) 水入口が回転する構造になっています。
- (3) 内部構造が簡単のため故障も少なく、軽量で作業性にすぐれています。
- (4) 調節用手元グリップを右に締め込んでいくとバルブが閉まり高圧水がストップし、左に回しますとバルブが開き先端の噴口から高圧水を噴射する構造になっています。
- (5) 噴霧作業が安定するように、中間握りを握ってご使用ください。
- (6) ご使用後は必ず水洗いをして高圧水を流し出し、バルブを開いた状態で換気の良い屋内に保管してください。

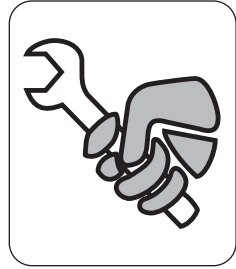


スプレーノズルのパイオニア

株式会社永田製作所

<http://www.nagataseisakusyo.co.jp>

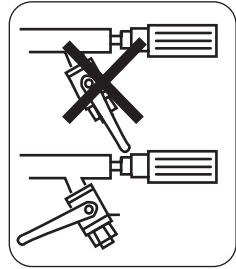
注意



▲(1) 毎回作業前にはホース取付部及びノズル各部ねじのゆるみまたは、損傷異常箇所がないか点検のこと。

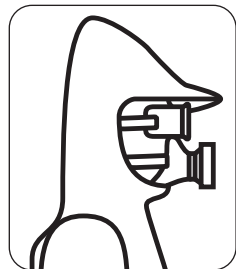
安全を期すためホース接続部の取付けねじ及びノズル本体各部ねじの締め付けに異常がないか工具で点検し、ゆるんでいる場合は完全に締め付けてからご使用ください。

あわせて各部に損傷がないか、操作機能に異常がないか確認し、もしも異常があった場合は、お求めの販売店で完全に修理してください。不完全な状態のままご使用になりますと、高圧水が噴出し事故の原因になりますので十分注意してください。



▲(2) 運転前には洗浄ノズルの止水バルブが完全に閉まっていることを確認のこと。

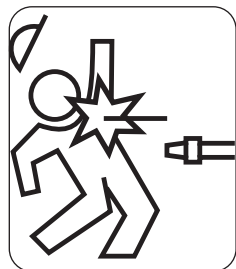
ポンプを運転する前には、ノズルのバルブが完全に閉まっている状態か必ず確認してください。バルブが開いた状態のままポンプを作動しますと、ノズルがついたままホースごと振り回され大変危険です。



▲(3) 作業時は防水服・保護用具を必ず着用のこと。

洗浄作業では高圧水が噴射されますので、安全に作業をするため、身体に密着した防水服、防塵マスク、顔面保護ゴーグル、手袋、安全靴（又はゴム長靴）などを必ず着用してください。洗浄作業中には高圧水やはがれた泥、土砂、粉塵等が跳ね返り危険です。作業中は必ず全身を完全に防護し付近に人（特に子供）が立ち入らないようにしてから作業してください。

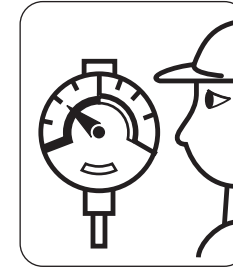
警告



▲(1) 洗浄ノズルの先端はいかなる時でも絶対に人や動物及び危険物には向けないこと。

ポンプの作動時は洗浄ノズルを両手でしっかりと持ち、バルブが閉まっているか確認し付近に人（特に子供）や動物がいないか、飛びだしの危険、又は危険物がないか、確認してください。ガンの調節手元握りを左方向に回すと瞬時に高圧水が勢いよく噴射しますので、一方の手で中間グリップをしっかりと持ち足元の不安定な場所、姿勢での作業は絶対にしないでください。

作業前点検準備



▲(2) 指定圧力以上での使用は絶対しないこと。

洗浄ノズルの最高使用圧力以上で使用されますとシール部材が損傷又は破損し事故の原因となる恐れがあり大変危険です。もしも、ご不明な点が、ありましたら販売店までお問い合わせください。

▲(3) きれいな水以外は使用しないこと。

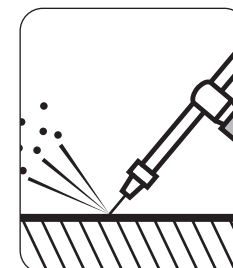
汚れた水、土砂、ゴミ等の混入した水、及び温水、スチームは使用しないでください。シール部の損傷、ノズルチップの早期摩耗及び目づまりによる故障または耐用期間の低下、熱による火傷等の原因になります。

▲(4) ポンプの作動中は洗浄ノズルの補修、放置をしないこと。

チップの目づまり、交換、接続の異常その他の補修は、必ずポンプを停止させたのちノズル本体のバルブを開き残圧を抜いて、ホースから外してから行ってください。なお、ポンプ作動中はノズルを放置しますと作業員以外の人が触ったり、又は機物等の接触によりバルブが開き高圧水が噴霧する恐れがあり大変危険です。

注意

作業終了後遵守事項



▲(1) 作業後はノズルの残圧処理を行うこと。

作業終了後はポンプを停止しても、洗浄ノズル本体及びホース内には使用中の高圧水が残っています。必ず洗浄ノズルの先端を前方下に向け、人や危険物がないか確認した後に手元グリップを左に回してバルブを開いて圧力を抜いてください。

▲(2) 作業後は速やかにノズル本体の洗浄を行うこと。

作業終了後洗浄ノズル本体を洗浄せずに長時間放置しておきますと他の箇所の故障の原因になりますので十分注意してください。



▲(3) 運搬、保管、取扱上の注意をすること。

使用後は洗浄ノズル本体内の薬液を抜くためホースから外してください。運搬保管に際しては下積にしたり、投げたり引きずったり他の目的には使用しないでください。寒冷地・冬季等では残水のまま放置しますと凍結破損をおこす恐れがありますので十分注意してください。なお、洗浄ノズルは子供の手の届かない屋内にて保管してください。